



佐世保市立花高小学校



=めざす児童像=

考える子

やさしい子

元気な子

所在地	佐世保市花高三丁目4番1号
校長	山田 和則
児童数	642名
学級数	23学級



グランドゴルフ交流（3年生）
～地域の方々とのふれあい～



米作り体験 ～稲刈り～（5年生）

1 目的

児童の発達段階に応じた様々な学習活動を通して、環境の大切さを学ぶと共に、学校が一人一人にとって楽しい学びの場となることで、学校教育目標である「ひらく[元気な子]」の具現化を目指す。

活気と潤いのある学校環境を整備するために、学級園等において学年に応じた草花や作物の栽培を推進する。また、地域の方との交流・福祉活動を通して児童の情操を高め、「いのち」を大切にすることを育てることにより、学校教育目標である「いのち[やさしい子]」の具現化を目指す。

校内研究主題である「やさしさあふれる社会を創る子どもの育成～一人一人の教育的ニーズに応え、個性の伸長を図る日常・学習活動の充実～」を推進していくために、特別支援教育の考え方をベースに、主観的・客観的児童理解の充実を図るとともに、生命尊重、親切・思いやり、規範意識を重視した学びの深化を図りながら、やさしさあふれる自他の関わりを身につけることを目指す。さらに落ち着きある生活が送れるよう「あいさつ・返事・廊下歩行・ふわふわ言葉」を啓発することにより、学校教育目標である「[元気な子][考える子][やさしい子]」の具現化を目指す。

近隣の保育園や幼稚園の幼児を招いて、接続カリキュラムに則り、遊びやふれあい活動、学校探検、学習見学を通して、保育園や幼稚園とのふれあいによる交流を深め、保育園や幼稚園からの円滑な移行を目指す。

2 実践内容

対象 学年	時 期	活動 場所	活 動 内 容
1年	7月	中庭	<p>【シャボン玉遊びをしよう】</p> <p>保幼小連携事業の第1回目の活動として近隣の保育園や幼稚園生と一緒にシャボン玉を飛ばして遊んだ。園児をお世話することで年長としての意識が芽生え、楽しく活動ができた。また、いろいろな大きさのシャボン玉が上がり、歓声が聞かれた。吹き方を教えたり、道具を貸してあげたりして、微笑ましい姿が多く見られた。</p> 
	12月	体育館・校内	<p>【昔遊びをしよう】</p> <p>保幼小連携事業の第2回目の活動として実施した。1年生は事前に親子で昔遊びをしたことで、とても自主的な活動ができた。園児の手を引き、遊び方や約束事などを知らせながら、いろいろな昔遊びを紹介して楽しい交流となった。</p> 
	12月	中庭	<p>【チューリップの球根を植えよう】</p> <p>生活科の学習で、一人一鉢ずつチューリップの球根を植える活動を行った。地域ボランティア「花のわ会」の方をゲストティーチャーとして迎え、球根の植え方、世話の仕方を教えていただいた。球根が寒さに耐えることの大切さなど話をさせていただき、子どもたちも真剣に聞くことができた。人と同様に生き物にも命があることを知り、命の大切さについて学ぶことができた。また、昔ながらの知恵や知識を伝授していただく機会を設定でき、「人の温かさ」にも触れることができ有意義な活動になった。</p>
2年	5月	学 年 園	<p>【ぐんぐんのびろ】</p> <p>生活科で、野菜を育てる学習に取り組んだ。夏野菜ではナス・ピーマン・キュウリを育てた。子ども達は、日々の成長を楽しみにして、水遣りや除草などの作業を頑張った。7月にはたくさん実り、楽しく収穫することができた。ぐんぐん成長する野菜の様子を驚きながら、高さを測ったり、触ってみたり、においをかいだりしながら、観察日記に記録した。</p>
	7月		
	11月		<p>冬野菜ではブロッコリーと大根を育てた。大根の間引きの作業は初めての体験で、間引きの意味を知り、体感しながら作業をした。間引きがうまくできずに十分に成長しなかった大根もあったが、間引きの意味を身をもって体験し学習することができた。ブロッコリーの苗は、普段食事で目にするものとはまったく違って、驚く子どももいたが、成長し収穫する時期になると食べる部分がどこにできるかを発見し、喜びながら観察日記に記録していた。それぞれの野菜を家庭に持ち帰り、家庭での料理の材料として使われたことを話す子どももたくさんいた。</p>

3年	9月	小森川	<p>【小森川自然体験学習～水中生物とのふれあい～】</p> <p>1回目の活動はゲストティーチャーの松永さんや清流会のみなさんのご指導のもと、ザリガニや魚など、小森川に住むさまざまな生き物を探して、小森川の自然と触れ合った。2回目の活動は、石の裏などに住む小さな生き物に目を向け、採った生物を調べたりする中で、川の水の様子を知ることができた。地域の方々と体験的な活動を一緒に行うことで地域の方々の思いを受けとめながら、意欲的に学ぶことができた。また、3回目は、松永さん</p>	
		校内	<p>んに川の役割や水質を守るためにできることなどを詳しく教えていただき、子ども達は自然環境を守る大切さを感じ、自分たちのふるさとに流れる小森川を大切にしようという思いをもつことができた。</p>	
	11月	運動場	<p>【お年寄りと交流しよう～花高 GGC の方々とのグランドゴルフ交流～】</p> <p>校区内で活動されている花高グラウンドゴルフクラブの方々をお迎えし、グラウンドゴルフでの交流を楽しんだ。1回目の活動では、打ち方やルールもわからない子ども達だったが、丁寧に教えていただきながら次第に上達し、楽しく活動することができた。2回目の活動では、ルールや球を打つときのポイントも理解し、中にはホールインワンを出して、大喜びする姿も見られた。2回の活動を通して、グランドゴルフの技術はもちろん、お年寄りとの心の交流が深まり、地域に根ざした学校づくりを行うことができた。</p>	
4年	6月	校外	<p>【平和について考えよう『平和の光は花高から』】</p> <p>6月に平和学習で長崎見学を実施した。平和案内人のガイドの方から原爆資料館の展示物や体験談を交えた説明を聞き、学校で学ぶことのできない貴重な体験ができた。平和公園では、全校児童が折った千羽鶴を捧げ、被害に遭われた皆様のご冥福を祈った。見学で学んだことや、平和案内人の方々の思いを全校児童に伝えるために、呼びかけの言葉を練り上げ、8月9日の平和集会で全校に向けて平和学習の成果を発信した。</p>	
5年	5月	校内	<p>【米作り体験学習】</p> <p>5月から6月にかけて、田起こし・代かきに取り組んだ。鍬やスコップで、2回田起こしを行い、足やトンボを用い、代かきを行った。</p>	
	6月		<p>6月19日(月)に田植えに取り組んだ。ゲストティーチャー小川さんに田植えの仕方を教わり、1人当たり3～5株の苗を植えることができた。7月から10月にかけて、稲の花の観察を継続的に行った。</p>	

5年	10月		 <p>10月25日(水)に稲刈りを行った。稲刈りの方法について小川さんより指導を受け、のこ鎌を利用し1株ずつ刈り取った。</p>
	2月		<p>11月2日(木)に脱穀に取り組んだ。牛乳パックを各自用意し、脱穀をした。2月には、小川さんをお招きし、米作りについて学んだことを発表した。収穫したお米を炊いて味わいながら、米ができるまでの生産者の苦労や食べ物の大切さについて一層学習を深めることができた。</p>
	2月	校内	<p>【保育園児・幼稚園児と交流会をしよう】</p> <p>保幼小連携事業の第3回目の活動として実施した。近隣の保育園児や幼稚園児を学校へ招待し、校内を巡ったり、折り紙遊びをしたりしながら一緒に遊んだ。校内のことや折り紙の折り方などを優しく教え、接する場面が多く見られた。</p>
6年	2月 3月	校内	<p>【感謝の気持ちを伝えよう】</p>  <p>登下校を見守ってくださった見守り隊の方々や、花のお世話やアドバイスをいただいた花のわ会の方々、放課後子ども教室や読みきかせの方々など多くの地域ボランティアの皆さんにお世話になってきた。その感謝の気持ちを伝えるために、6年生が代表して手作りの手袋をプレゼントしている。フェルトで花高小学校の校章を作りそれを手袋に縫い合わせ、メッセージカードも添えた。3月の最後の集団下校の前に「感謝の会」を行い、その時に6年生が手渡した。子ども達は、何気ない普段の生活が多くの地域の方々に支えられていることに気づくとともに、感謝の気持ちを持つことができた。</p>
全学年	年間	校内	<p>【学力検査<国語・算数>・下敷きの活用・校内研究との関連】</p> <p>確かな学力の定着を図るための資料として、全学年において国語・算数の学力診断テストを実施した。(2~6年生は4,5月,1年生は1月に実施)その結果を、校内研究や年度末まとめの資料として活用した。また、家庭学習の手引きを印刷した下敷きを使用することによって、常に家庭学習を意識させることにより学習習慣の定着を図ることができた。さらに下敷き裏面の学習の心構えや発表の仕方を活用することで、授業に臨む心構えや、相手を意識した話し方や聞き方ができるようになってきている。</p> <p>また、2年間の市指定の研究内容を継続し、「教育的ニーズ」に応じた指導・支援の方法の改善とユニバーサルデザインの考え方に基づいた学習環境の整備なども進めていきたい。</p>